

目からウロコ！温故知新の MGD 治療 アップデート

MGD treatment update 2015

有田 玲子¹⁾²⁾、森重 直行²⁾³⁾、川島 素子²⁾⁴⁾、高 静花²⁾⁵⁾、白川 理香²⁾⁶⁾、鈴木 崇²⁾⁷⁾、崎元 暢²⁾⁸⁾

Reiko Arita¹⁾²⁾

伊藤医院¹⁾、ライム研究会²⁾、山口大³⁾、慶應大⁴⁾、東京大⁵⁾、大阪大⁶⁾、愛媛大⁷⁾、日本大⁸⁾

Itoh Clinic¹⁾、LIME working group²⁾、Yamaguchi Univ³⁾、Keio Univ⁴⁾、Tokyo Univ⁵⁾、Osaka Univ⁶⁾、Ehime Univ⁷⁾、Nihon Univ⁸⁾

マイボーム腺機能不全（以下 MGD）は、ドライアイの主因（ドライアイ全体の約 86%）であることが疫学的調査で明らかになり、日本国内だけでなく海外でもその診療に注目が集まっている疾患である。高齢者だけでなく小児から青年期にわたっても患者数が増加しているが、いまだ特効薬といえるような治療法は開発されていない。私たち Lid and M eibomian gland working group (LIME 研究会) では MGD における最新診断機器の紹介、従来から行われている治療法にエビデンスを付加する“温故知新の MGD 診療”をテーマに活動を行っている。

本コースでは 2013 年のインストラクションコースをさらにアップデートして明日から患者さんに勧められる、また処方できる温故知新の MGD 治療を多角的に解説したい。具体的には

総論

MGD 診療 Over View（最近の国際的トレンド）

マイボケア

1. 温電法（一日何回、何分行うのが効果的？効果持続時間は？そのとき角膜は？）
2. 眼瞼清拭（しめない瞼の洗い方、効果的なマッサージ）
3. 食事療法（効果のほどは？おすすめ食材）

マイボトリートメント

4. マイボーム腺脂圧出（吉富式、獨協式、有田式、マスクンブロープの紹介、なるべく患者に痛みを与えず古い脂を出すコツ）
5. 点眼療法（眼瞼疾患における古くて新しい抗菌療法）
6. 内服療法（抗炎症をねらった内服療法、どれくらい続ける？容量は？）

を予定している。本コースのキーワードはまさに“温故知新”である。

[利益相反 公表基準：該当] 無

[倫理審査：該当] 無

[IC：取得] 有